

笹川保健財団 地域啓発活動助成

2021年 6月 29日

公益財団法人 笹川保健財団

会長 喜多悦子 殿

## 2020年度地域啓発活動助成 活動報告書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

### 記

活動課題

みんなで考えよう 人生会議 伝え方・受け止め方のコツ

活動団体名：訪問看護ステーションフォレスト熊本

(共催 熊本市中央6地域包括支援センター、たねまき7)

活動者(助成申請者)名：森安 玲子

## 笹川保健財団 地域啓発活動助成

助成番号：2020-025

### 1、活動の目的・方法

当初の目的として地域住民の方々や専門職すなわち、支える側、支えられる側が入り混じっての ACP の参加型研修会を開催することで、立場を超えて“人”としての語らいや学びの場が提供でき、訪問看護を含む在宅医療の周知が図られると考えた。

しかし、コロナ禍で新しい形の安全で安心できる研修会を開催することが必須と思われる。その為には、Zoom を用いた Web での研修を企画し、対象者は専門職と学生（看護学生・学園大の社会福祉学部等々）とする。1 回の講義の時間を短くし、3 回シリーズ（途中参加可能）で行いながら、ACP の概論・考え方・実践を学ぶことで、病気や障がいがあってもまた、病状の進行により要介護状態などになった時も「住みなれた地域で、安心して尊厳を保って最期まで自分らしく暮らせる」ことが理解できたうえで、家族や自分自身の終焉を考えると同時に多職種で支援する在りかたを考えるよい機会となるよう活動する。

### 2、実施経過

#### ①実施経過

<講師、事務局との会議>

R2.3.29、5.16、6.30、7.7、8.13、8.26、10.13、10.28、10.31、11.13、11.19、12.10、12.11、12.16、12.19、12.20、R.3.1.11、1.11、1.19、1.20、1.23、1.24、3.26 Web 会議を実施

<事務局にて Zoom の学習会及び他の Zoom 研修への参加や会議の開催>

職場内での会議開催や個人の学習に Zoom を活用

<研修会の実施>

「みんなで考えよう 人生会議」(全3回)

第1回(11/13)「いま、なぜ人生会議!？」

(横浜掖済会病院 平野和恵先生 緩和ケア認定看護師)



第2回(12/19) 「希望をつなぐ人生会議\*もしバナカードについて」

(亀田医療大学看護研究科講師 千葉恵子先生 緩和ケア認定看護師)



第3回(R3.1/23) 「事例に学ぶ人生会議」

(YMC A訪問看護ステーション・ピース所長 濱本千春先生 がん専門看護師)



②活動参加人数他

研修名	Z o o m参加者	各会場参加者(フォレスト・包括・その他)	合計
第1回(11/13)	18名	15名	33名
第2回(12/19)	16名	16名	32名
第3回(R3/1/23)	26名	8名	34名
合計	60名	39名	99名

<参加者の背景>

参加地域・・・北海道、神奈川、千葉、静岡、山梨、広島、福岡、鹿児島、熊本  
 参加者の属性・・・訪問看護師、クリニックの看護師、病院看護師、老健看護師、看護学生、  
 訪問介護、居宅介護支援事業所、包括支援センター、老健事務、訪問理美容、医師

## 3、アンケート結果(活動の成果)

問1、この研修に参加して内容や進め方について満足されましたか？【反応】

問2、この研修に参加して成果(理解、知識、スキル、発想、勉強意欲等)がありましたか？【学習】

研修名	回答数	問1	問2
第1回(11/13)	9名 (27%)	とても思う・・・66.7% やや思う・・・22.2% どちらともいえない・・・11.1%	とても思う・・・66.7% やや思う・・・22.2% どちらともいえない・・・11.1%
第2回(12/19)	16名 (50%)	とても思う・・・68.8% やや思う・・・31.3%	とても思う・・・31.3% やや思う・・・68.8%
第3回(R3/1/23)	23名 (68%)	とても思う・・・82.6% やや思う・・・8.7% どちらともいえない・・・8.7%	とても思う・・・78.3% やや思う・・・21.7%

問3、この研修に参加してどのように知識とスキルを仕事に生かされますか？【行動】

研修名	回答(一部抜粋)
第1回(11/13)	・11月30日の人生会議の日を忘れないようにします ・最後まで自分らしく生きるためのコミュニケーションを大事にする事を学びました
第2回(12/19)	・もしバナカード・久しぶりに自分の価値観を振り返った ・ACPに対して現場の理想と現場の違いを知ることができ、教材研究の一つとして十分生かせると考えます
第3回(R3/1/23)	・どんな困難と感じる事例でも見放さないこと ・活かします！いいところ探しのトレーニングをしていく！肯定のトレーニングは私達みたいな在宅でのチームメンバーにとっては大事なことと再確認しました。

問4、この研修に参加してご自分の組織にどのような効果がありますか？【結果】

研修名	回答(一部抜粋)
第1回(11/13)	・今後も意識して仕事していきたいと思います。 ・チームが自己決定を尊重する同じ考え方向でまとまる。
第2回(12/19)	・こういう研修も自分の組織でも開催したいと思いました。 ・保険外サービスの訪問美容ですが、専門職の身近な方々からのご提案やご本人のご希望に素早く対応できる事で、ご本人が自分の希望を叶えることができる安心感につながる。
第3回(R3/1/23)	・専門職からニーズを押し付けない事も大事と感じた。 ・できるだけ、支援が必要な人が取りこぼされる事が無いように、細いパイプであっても繋がっていくことが大事だと思います。

## 問5、その他ご意見・ご感想をお聞かせ下さい(Z o o m研修について等)

研修名	回答(一部抜粋)
第1回(11/13)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声もよく聞こえ、画像もきれいでした。</li> <li>・不具合で、はじめの30分ぐらい視聴できなかったのが残念でした。準備してある資料や内容を見ても1日かけて聞いていけるような内容でした。</li> </ul>
第2回(12/19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島から参加の看護学生です。大変勉強になりました。次回も参加させて頂きたいと思います。</li> <li>・緩和ケア実習担当しながら、実際には人生会議やACPを知らない現状があることに驚きを感じていました。私達から発信するツールの一つとして「もしバナカード」を活用していきます。</li> </ul>
第3回(R3/1/23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の生の声が聞けて、すごっくりリアルでイメージしやすくてとても勉強になりました。</li> <li>・Z o o m研修であれば、どの地域に住んでいても、このような事例検討ができると関心しました。今後の仕事にも活かしていきたいと思いました。</li> <li>・Tさんの事例では、Tさんの背景には正直驚きましたが、Tさんを支えるための連携や地域包括支援センターの方々への関わりを心揺さぶられました。学生に参加させたかったです。</li> </ul>

アンケートの回答は2回目の研修から、退出前に声掛けを行い、アンケートを回答いただいていたからの退出を声掛けしたので、回収率が良くなったと考える。また、最初はWEB(Z o o m)研修で接続がうまくいかなかったりしたが、回を重ねるごとに、運営も参加者も慣れてきて、皆さんが、楽しく参加していただいたことが、アンケート結果から読み取れた。

## 4、研修をおえて(今後の課題・活動の公表について)

今回の研修に参加されたクリニックの看護師さんより、発行されている広報紙に、活動の寄稿をお願いされ、地域の皆様に向け研修内容を発信することができた。コロナ禍でも、皆の力を借りて、学びつづけたり、思いをかたりあったりできる事が実感できた。さらに、全国の皆様と瞬時につながり、意見交換ができて感動したとの参加者からの声も聴かれる事ができた。事例検討に至っては、継続してほしいという声も多く、学びつづけること、歩みを止めないことが大切であると再確認できた。今後も事例検討を継続していくことが課題である。

チラシを財団ホームページに掲載いただき、宮崎の方からの参加の申し込みがありました。いろいろと、笹川保健財団の菅原様からお力添えを頂きありがとうございました。今回の企画をやり遂げた事で、様々なWeb研修に皆で参加したり、個人的に参加したりと職場でも積極的に学習する事ができるようになりました。本当に、大きなチャンスを与えて下さり、心から感謝申し上げます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。